



平成26年8月14日

各位

上場会社名 東燃ゼネラル石油株式会社
 代表者 代表取締役社長 武藤 潤
 (コード番号 5012)
 問合せ先責任者 EMGマーケティング合同会社広報渉外本部メディア広報部部长 甲斐 航介
 (TEL 03-6713-4400)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2014(平成26)年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,700,000	23,000	21,000	7,000	19.21
今回修正予想(B)	3,600,000	6,000	4,000	47,000	129.00
増減額(B-A)	△100,000	△17,000	△17,000	40,000	
増減率(%)	△2.7	△73.9	△81.0	571.4	
(ご参考)前期実績 (平成25年12月期)	3,241,150	52,289	49,816	22,902	62.84

平成26年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

	売上高	営業収益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,000,000	15,000	27,000	21,000	57.64
今回修正予想(B)	3,000,000	△3,000	68,000	120,000	329.35
増減額(B-A)	—	△18,000	41,000	99,000	
増減率(%)	—	—	151.9	471.4	
(ご参考)前期実績 (平成25年12月期)	3,033,225	41,238	40,179	26,198	71.89

修正の理由

平成26年12月期通期の連結営業利益は、前回発表時(平成26年5月15日)より170億円減少し、60億円となる見通しです。今回の修正は、主に4-6月期の低調な石油事業実績を反映したこと、そして7月以降の石油製品輸出マージンの想定を下げた一方で石油化学品マージンの想定を上げたことによるものです。在庫評価益は前回予想と同様に本予想でもゼロと想定しています。

また、当社と当社子会社であるEMGマーケティング合同会社(以下「EMGM」)のそれぞれの資本構成を適正なレベルにするため、EMGMの減資と配当を第4四半期に実施する予定です。これらの取引に伴い、連結および個別当期純利益にはEMGMの減資による税効果の影響が含まれます。また、個別経常利益にはEMGMからの受取配当が含まれます。

なお、1株当たり年間38円の配当見直しについては、前回発表からの変更はありません。

以上